千葉大学附属図書館報 ISSN 1346−6771

InfoPort

千葉大の学術研究成果を世界に発信

特集
図書館で“上手に”パソコンを使う

寄稿
アダム・スミスコレクションへの追加（6）

TOPICS
貸出冊数・開館日・開館時間が増えます
入館管理システムを導入（松戸）
EBM必携ツールを全キャンパスで
e-Book 新規タイトル導入
館内のコンピュータ環境変更（本館）

No. 11
2005.4
The Chiba University Library Bulletin

Library Topics

貸出冊数が増えます

皆さんからのご要望や貸出状況を検討した結果，4月から貸出冊数を増やすことになりました。
貸出期間は変わりません。 変更は下記のとおりです。

学部1，2年生	本館（西千葉）	10冊 （期間3週間）
専攻生	本館（西千葉）	10冊 （期間3週間）
	亥鼻分館	10冊 （期間2週間）
	松戸分館	10冊 （期間3週間）
教職員	本館（西千葉）	20冊 （期間3週間）

開館日、開館時間が増えます

本館は，2005年度から祝日も開館することになりました。（休業期間は除く）
亥鼻分館・松戸分館は土曜日だけでなく，日曜日も開館します。（休業期間は除く）
また，本館では試験期間に開館時間を延長します。日程・時間・利用可能なサービス等についてはホームページのニュースでもお知らせします。開館日程もご覧ください。

図書館ホーム＞開館日程　　http://www.LL.chiba-u.ac.jp/~etsu/calendar/

入館管理システムが入ります（松戸）

4月から，松戸分館に入館管理システムが入ります。
本館・亥鼻分館同様，入館時には学生証などの図書館利用者カードが必要となります。
詳しくは，松戸図書係（内線:8717）までお問合せください。

ＥＢＭ必携のツールを全キャンパスで

EBM（=Evidence-Based Medicine）の必携ツール Cochrane Collection と看護系データベースのCINAHLが，全キャンパスからご利用いただけるようになりました。また，MEDLINEもID/パスワードが不要となりました。なお，これに伴い，インターフェースが変更されています。
詳しくは以下のページ，もしくは亥鼻分館カウンターまで。

図書館ホーム＞主題別情報資源＞海外＞Cochrane Collection，CINAHL，MEDLINE
http://www.LL.chiba-u.ac.jp/~ibgaku/www/ebsco/medline.html

e-Book 新規タイトルを導入

2005年4月より，新たに次の3タイトルを導入します。

- Encyclopedia of Ethical, Legal, and Policy Issues in Biotechnology
- Stevens Handbook of Experimental Psychology
- The Handbook of Plant Biotechnology

詳しくは下記のページ，もしくは情報サービス企画係（内線:2262，kikaku@LL.chiba-u.ac.jp）まで。

図書館ホーム＞電子ジャーナル＞Wiley Interscience
http://www.LL.chiba-u.ac.jp/~kikaku/online/EJ/Wiley.html

館内のコンピュータ環境が変わりました（本館）

本館に，インターネット用として大学の教育用システムの端末が入りました。利用には，大学の教育用システムの利用者ID/パスワードが必要になりますので，ご注意ください。

表紙: 館内写真（右上:松戸分館，右中:本館，右下:亥鼻分館，左:本館参考書架）

千葉大の学術研究成果を世界に発信

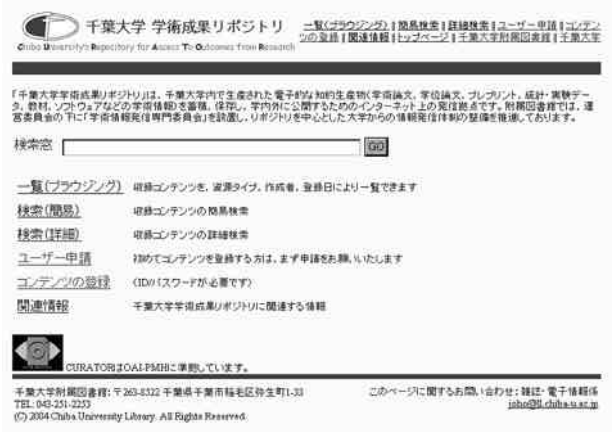
平成16年4月の国立大学法人化に伴い，大学には，教育研究活動の透明性を高め，学内で生産された学術研究成果を積極的に社会に還元していくことがこれまで以上に求められています。こうした要請に応えるために，附属図書館では，「千葉大学学術成果リポジトリ（CURATOR: Chiba University's Repository for Access To Outcomes from Research）」を立ち上げ，学術研究成果の発信を支援するシステムを整備しています。

【学術成果リポジトリとは】

「千葉大学学術成果リポジトリ（CURATOR）」とは，学内で生産されたさまざまな電子的な知的生産物を蓄積，保存し，学内外に公開するためのインターネット上の発信拠点と位置づけることができます。仕組みを簡単に紹介いたしますと，まず学内の先生方に，ウェブのインターフェイスを通じて，雑誌掲載論文，紀要論文，プレプリント，単行書といった学術研究成果をシステムに登録して頂きます。次に，図書館では先生方の登録を支援し，合わせて，登録したデータの検索や管理を助けるためにメタデータ（検索や管理タイトル，作成者，抄録，キーワード等の書誌データ）の整備を行います。そして，学内外の利用者の皆さんは，リポジトリ内のコンテンツに無料でアクセスし，画面で閲覧することが可能になります。つまり，学術成果リポジトリは，千葉大学の学術研究成果を一元的に発信する統一的窓口，すなわちショーウィンドウとして機能することになるのです。（千葉大広報 vol.128 (2004.12) P.15のシステム概要図も参照ください）

【期待される効果】

このような特徴をもつリポジトリは，社会･大学･学内研究者のそれぞれに対し，以下のような効果をもたらすと期待されています。



http://mitizane.LL.chiba-u.jp/curator/

1）社会にとっての効果
- 千葉大学の研究動向の迅速な把握

2）大学にとっての効果
- 社会に対する説明責任の履行
- 産学連携の促進
- 研究機関としての千葉大学の認知度の向上

3）学内研究者にとっての効果
- 学術研究成果の可視性の向上
- 自らが生産した学術研究成果を管理するためのコストの削減

また，学術雑誌に掲載された論文をリポジトリに登録し，それを無料で発信することによって，昨今注目を集めているオープンアクセス運動（学術論文への障壁なきアクセスの実現を標榜した運動）に貢献することができるという効果も考えられます。

附属図書館は，このシステムを通じて，千葉大学の学術成果の発信を支援すると同時に積極的な社会貢献を果たして行きたいと考えています。

リポジトリが上述の効果を発揮できるかどうかは，学内の研究者の皆さんによる登録がどこまで定着するかに掛かっています。皆様のご理解･ご支援の程，よろしくお願い申し上げます。

図書館で“上手に”パソコンを使う

みなさんは，図書館に何をしに行きますか？

「本を読みに･･･」「レポートを書きに･･･」「論文を探しに･･･」「友だちと待ちあわせ」など，いろいろな目的があると思います。 中には「パソコンを使いに･･･」という人もいるでしょう。 本館のインターネットコーナーなどは，満席で順番待ちをする人も見られますし，自分のノートパソコンを持ち込んでレポートを書く人も増えてきました。

では，図書館にあるパソコンを使うメリットってなんでしょう？

図書館を含め，大学にある（大学のネットワークに繋がった）パソコンを利用すると，どこでも誰でも利用できる**無料の情報とは別に，内容の整備されたデータベースが利用できる**のです。 これは大学にいる人の特典ですから，このデータベースを利用しないと損ですよ。

例えば･･･

百科事典の全文を読む （ネットで百科）
ちょっとしたことならなんでもインターネットで検索･･･それも手軽ですが，ちょっと待って。レポートや論文を書くのに，知らない誰かが書いたwebページを参考にするのは不安ですね（もちろん信頼できる個人のwebサイトもありますが）。調べものの基本は百科事典。重たい冊子を開く替わりに，データベースを全文検索すれば，専門家が書いた説明の見出しにならない言葉まで検索して，読むことができます。

新聞記事の全文を読む （聞蔵:朝日新聞全文記事検索）
リアルタイムのニュースは新聞社のwebサイトにかないませんが，今朝の新聞を含め20年分の新聞記事をまとめて検索し，読むことができます。地方版も収録されているので，地元の記事もチェックできますね。

学術論文を探す，全文を読む （SciFinder，MEDLINE，lexis.comなど，電子ジャーナル）
分野毎に論文が探せるデータベースを使えば，雑誌の目次を全部チェックするよりずっと効率的に，自分の研究に関連した論文を探すことができます。見つけた論文を電子ジャーナルとしてパソコン上で読むこともできます。千葉大学で電子ジャーナルを契約していない場合は，蔵書検索で冊子体の雑誌も探してみてください。

これらのデータベースなどは図書館のガイダンスや授業などで紹介することも多いので，知ってる方も多いと思います。 実際に使ったことはあるでしょうか。
知らなかった！という方は，図書館で講習会をしていますので参加してみてください。
http://www.LL.chiba-u.ac.jp/~kikaku/guide/guidance.html

ではどこで使えばいいのでしょう？

こういったデータベースは，基本的には，大学のネットワークに繋がっているパソコンからなら，研究室などどこでも使えます。 （パスワードなど，条件が付くこともあります）
もちろん図書館にもパソコンがありますので，勉強中に分からないことがあったら，ぜひ使ってみてください。 個人の持込パソコンは，キーボードを打つ音などが他の利用者の迷惑になることがありますので，決められた場所で使ってくださいね。

どこにパソコンがあるかは，次ページへ

附属図書館各館でパソコンが利用できる場所

本館

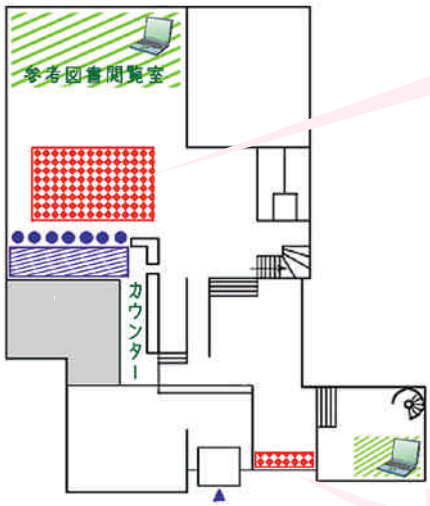
蔵書検索用，インターネット用，データベース検索用のパソコンがあります。
インターネット用でもほとんどのデータベースは使えますが，データベース検索専用として『情報検索コーナー』も用意しています。
講習会も開催していますので，千葉大学にいるからこそ利用できる様々なデータベースを使いこなせるようになりましょう。

2005年3月からインターネット用には，総合校舎や総合メディア基盤センターと同じ教育用端末を利用します。自分のID/Passwordが必要となりますのでご注意ください。

個人の持込パソコンは，1F，2F，旧館の3Fで使用できます。

● 蔵書検索用パソコン　持込パソコン可能エリア

1F



インターネットコーナー

・オンラインのデータベース
・インターネット　が利用できます。
教育用端末のID/Passwordが必要です。

・オンラインのデータベース
・インターネット　が利用できます。

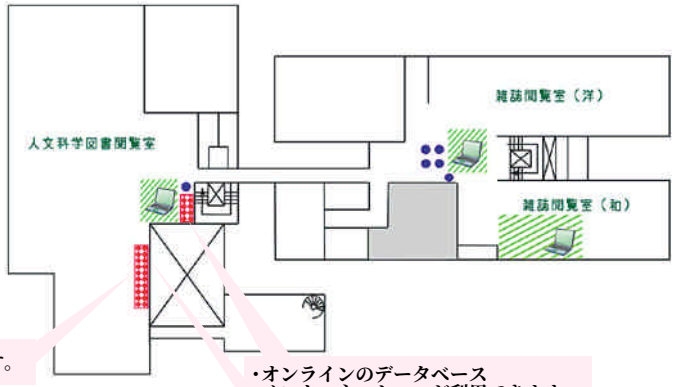
教育用端末のID/Passwordが必要です。
立って使いますので，短時間の利用にどうぞ。

情報検索コーナー

・オンライン，CD-ROMデータベースの利用。
・カウンターで申込んでから利用します。

利用時間：開館～17:15まで（平日のみ）

2F

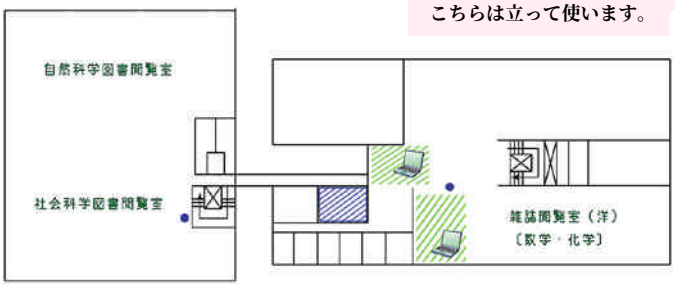


こちらは立って使います。

・オンラインのデータベース
・インターネット　が利用できます。

教育用端末のID/Passwordが必要です。

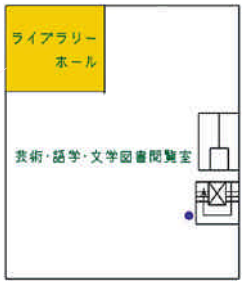
3F



リテラシー研修室

図書館のガイダンス，講習会で使用。
申込があれば，ご希望の内容で少人数でも講習会を行います。使い方の分からないデータベースは，ここで解決して，どんどん活用しましょう。

4F



ライブラリーホール

実習なしのデータベース講習会は，スクリーンを使ってここで行います。館内のポスターやチラシ，図書館webサイトでスケジュールを確認して，お気軽にご参加ください。

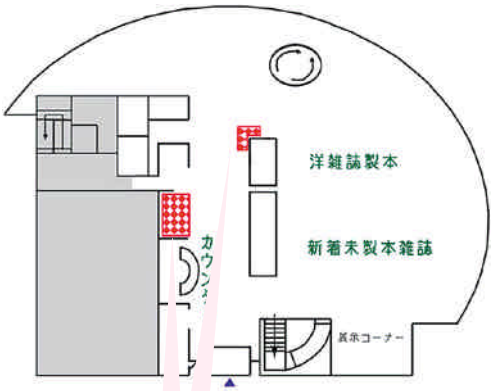
亥鼻分館

1F，2Fにインターネットやデータベース検索ができるパソコンがあります。

個人の持込パソコンは，3Fの持込パソコンコーナーで使用できます。

持込パソコン可能エリア

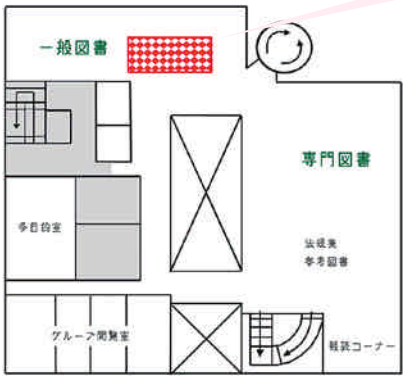
1F



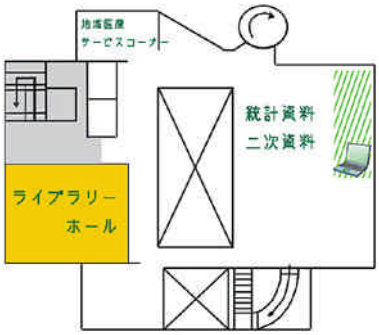
・データベース
・インターネット
　　が利用できます。

右は1Fカウンター脇

2F



3F



松戸分館

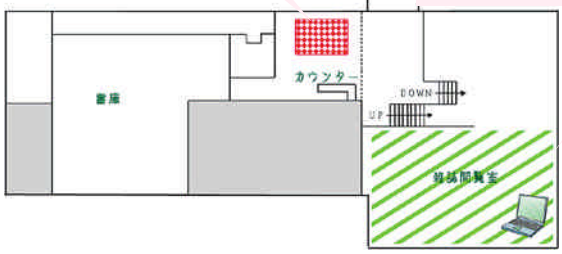
1Fにインターネットやデータベース検索のできるパソコンがあります。

個人の持込パソコンは，館内の閲覧席ではどこでも使用できます。

・オンライン データベース
・CD-ROM データベース
・インターネット　が利用できます。

1F

2階も含め，館内の閲覧席はどこでも持込パソコン利用可です。



CONTRIBUTION アダム・スミスコレクションへの追加(6)

法経学部教授　野　澤　敏　治

T.R.Malthus,　An Essay on the Principle of Population, or, A View of its Past and Present Effects on Human Happiness. Vol.1-2, 3 rd ed., London.

マルサス（1766-1834年。モールタスと読むのが正しいらしい）は『人口論』の著者で有名である。彼が人口は幾可級数的に増え、食料は算術級数的に増えると主張したことは誰でも知っているであろう。また経済学史の講義を受ける学生であれば、『人口論』がフランス革命の原理を展開した無政府主義者W・ゴドウィンを批判して、土地所有と男性にとっての結婚制度を擁護した本であることを学ぶであろう。

この『人口論』は一つだけでなく、第6版まである。初版は大胆な表現と文学的にも魅力のある書き方をしていたために成功した。だが、マルサス自身は満足せず、学術的な改訂を計る。（そのように始めから学問的な体裁をとっていれば、売れなかったであろう。）彼は最初、単なる人口増加は国民の繁栄を示すものでないと考え、人口増を食料増のテンポに抑えるべきことを主張していた。そしてその過程で貧困と子供の死、結婚抑制による悪徳の発生が必然的に伴なうと論じていた。経済学は何とも冷たい学問である。それが第2版で人間には性欲に対する道徳的抑制の力があると改められる。そして先見的であった仮定や命題が歴史や諸国の実例によって固められていった。こうしてマルサス自身が認めるように、第2版は初版と異なる「新しい著作」となって現れる。そのため後に各版研究がＪ.ボナーやかの河上肇、そして今日の羽鳥卓也等の研究者によってなされてきている。

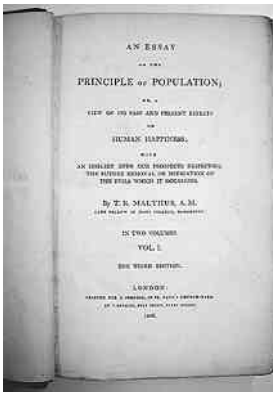
マルサスに対する評価は両極端である。彼の墓碑銘には「その人物の尊さとその思想家としての誠実さは、いかなる時代いかなる国を通じても第一流であった」と記されているらしい（高野岩三郎・大内兵衛訳『人口の原理』の大内筆「解説」より）。その通りであって、彼の気質が穏和であったことは多くの者が認めている。反対に、彼は貧乏を犯罪とみなし、貧者にその道徳的責任をとらせようとした点で、恥ずべき学説を唱えた者と断じられることもある。

通例、経済学史の教科書では、リカードは投下労働価値論に拠って分配関係を内面的に分析し、進歩的産業資本のイデオローグになったとされている。他方、マルサスは、表面的な需要・供給の視点から資本主義を分析し、保守的な地主階級のイデオローグになったとマイナス的に評価されることがある。結局リカードがその後の19世紀の経済学を支配することになる。

それでもマルサスには資本主義認識の点で見逃せない方法がある。それは彼の理論が抽象的普遍性よりも帰納的で現実性の点で優れていることである。それは後のケインズによって「私には最も親しみやすく、かつ・・・・容易に正しい結論に導くと思われる方法」（『人物評論』）だと評価される。その方法によってマルサスは「有効需要」の貨幣理論を構成していくのである。彼は産出量を決定するものは貨幣にあると考えており、また彼は商品の価格と資本の利潤は地代支出や公共事業による有効需要（――ヒューマニズムや人権論者の主張する生存権とは異質の考え！）によって決定されると考えていた。それ故に彼はケインズから「ケンブリッジ経済学者の始祖」（『人物評伝』）と称されるようになる。

これ以外にもマルサスには今日の日本経済に対して示唆的なものがある。それは農業と工業との違いについてである。農業の主要な生産手段である土地は資本投下によって改良することができるが、それにも限度があり、品質にばらつきが大きい。その点で土地は機械と異なる。土地には人工物でない「自然の賜物」（『地代論』パンフレット、1815年）の要素がどうしても残るのである。マルサスはその認識のうえに、農工のバランスある産業構造や食料自給率の向上を考えていく。

マルサスがダーウィンの進化論形成史に登場することを付言しておこう。マルサスは『人口論』初版の第9章で次のようにコンドルセの人間の無限完成論を批判する。人間の寿命は気候や栄養・風俗等が良ければかなり延びるだろう。また人間の身体的特質を遺伝的に改良することはできるだろう。しかし不老不死を実現できると考えるのは不合理である。そう論じる中で、彼は遺伝的改良の例示として、ビッカースタフ家における結婚上の注意や乳搾りの女性モードとの血の交わりをあげた。この部分が1838年当時のダーウィンに、彼の選択法則や淘汰説の考えに近いものを感じさせたのである。


AN ESSAY
ON THE
PRINCIPLE OF POPULATION;
OR, A
VIEW OF ITS PAST AND PRESENT EFFECTS
ON
HUMAN HAPPINESS;
WITH
AN INQUIRY INTO OUR PROSPECTS RESPECTING THE FUTURE REMOVAL OR MITIGATION OF THE EVILS WHICH IT OCCASIONS.
By T. R. MALTHUS, A.M.
IN TWO VOLUMES.
VOL. I.
LONDON:

『人口論』初版は成功して売り切れ、当時から稀覯本であった。現在それは大変な高値で古書市場に出ている。日本の購買力（――研究者の財布とは無関係）がこの市場価格の水準に影響力を与えている。

教員からの寄贈著書（平成16年9月～平成17年2月配架分）

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。（50音順　敬称略）

本　館

阿部 清司（専門法務）	大学と日本の国際化：知的国際貢献の試み	著	本館閲覧室3階 377.6/DAI
石井 徹哉（法経）	刑法ゼミナール	分担執筆	本館閲覧室3階 326/KEI
宇佐美 寛（名誉教授）	宇佐美寛・問題意識集;11～13	著	本館閲覧室3階 375.8/USA
大江 靖雄（園）	国際競争に打ち勝つ農業経営自立化戦略：新しい農業経営者能力の開発と活用	分担執筆	本館閲覧室3階 611.7/KOK
小倉 美知子（文）	Studies in Modern English : the twentieth anniversary publication of the Modern English Association	分担執筆	本館閲覧室4階 830.25/STU
金田 章宏（国際セ）	日本語のアスペクト・テンス・ムード体系：標準語研究を超えて	分担執筆	本館閲覧室4階 818/NIH
	奥山熊雄の八丈島古謡	著	本館閲覧室3階 388.91/OKU
久保 勇（社文研）	源義経99の謎と真相	分担執筆	本館閲覧室4階小型 289.1/MIN
小林 範久（自）	ポリマーサイエンス（CD-ROM）・高分子素材 ・高分子物性 ・高分子構造	監修	本館閲覧室3階 431.9/POR
古在 豊樹（園）	最新の苗生産実用技術：閉鎖型苗生産システムの実用化が始まった	著	本館閲覧室3階 615.5/SAI
古宮 照雄（名誉教授）	シェイクスピアを求めて	分担執筆	本館閲覧室4階大型 932.5/SHA
渋谷 望（文）	クリティークとしての社会学：現代を批判的に見る眼	分担執筆	本館閲覧室3階 361.04/KUR
建石 隆太郎（環境リモセ）	Degradation of the drylands of Northern Africa	共著	本館学内出版物コーナー 512.75/DEG
半田 吉信（専門法務）	契約法講義	著	本館閲覧室3階 324.52/KEI
松田 友義（自）	食の安全とトレーサビリティ：農場から食卓までの安全・安心システム作り	編集，分担執筆	本館閲覧室3階 611.4/SHO
松葉 育雄（工）	複雑系の数理	著	本館閲覧室3階 410/FUK
丸山 敦史（園）	食品安全性の経済評価：表明選好法による接近	分担執筆	本館閲覧室3階 498.54/SHO
百原 新（園）	海辺の環境学：大都市臨海部の自然再生	分担執筆	本館閲覧室3階 454.7/UMI
森高 光広（附属小）	読書感想画の指導	分担執筆	本館閲覧室2階 019.2/DOK
	読書感想画のすすめ	著	本館閲覧室2階 019.2/DOK
	はじめよう読書感想画の実践	著	本館閲覧室2階 019.2/HAJ
山口 正視（真菌セ）	電顕入門ガイドブック	編集委員長，分担執筆	本館閲覧室3階 460.75/DEN
山口 正恆，橋本 研也（工）	弾性波デバイス技術	分担執筆	本館閲覧室3階 501.24/DAN

人　事　異　動

（配置換）　平成16年10月1日
工学部総務係主任
　合戸　祐子（情報管理課総務係主任）
情報管理課総務係
　三浦　創（附属病院医事課外来業務室外来係）

（新規採用）　平成17年2月1日
情報管理課雑誌・電子情報係
　中村　澄子

亥　鼻　分　館

新井 公人（医）	アルツハイマー：その生涯とアルツハイマー病発見の軌跡	監訳	亥鼻閲覧室 WZ100
落合 武徳（医）	いのちの恵み：移植外科医ロイ・カーン自伝	監訳	亥鼻閲覧室 WZ100
	大腸癌・炎症性腸疾患：専門医から学ぶ最新治療	編	亥鼻閲覧室 WI529
服部 孝道（医）	一目でわかるニューロサイエンス　第2版	監訳	亥鼻閲覧室 WL102

松　戸　分　館

赤坂 信（園）	池ノ上容著作目録と自然公園論	編集協力	松戸閲覧室 629/I
犬伏 和之（園）	土壌微生物生態学	分担執筆	松戸閲覧室 613.56/D
大江 康雄（園）	国際競争に打ち勝つ農業経営自立化戦略：新しい農業経営者能力の開発と活用	分担執筆	松戸閲覧室 611.7/K
菊池 眞夫（園）	熱帯農業事典	編集協力	松戸閲覧室 610/N
古在 豊樹（園）	最新の苗生産実用技術：閉鎖型苗生産システムの実用化が始まった	著	松戸閲覧室 615.5/S
児玉 浩明（園）	図解植物分子細胞生物学	分担執筆	松戸閲覧室 471.1/Z
斎藤 修（園）	農業資材産業の展開	編	松戸閲覧室 612.1/N
建石 隆太郎（環境リモセ）	Degradation of the drylands of Northern Africa	共著	松戸閲覧室 512.75/D
松田 友義（自）	食の安全とトレーサビリティ：農場から食卓までの安全・安心システム作り	編集, 分担執筆	松戸閲覧室 611.4/S
丸山 敦史（園）	食品安全性の経済評価：表明選好法による接近	分担執筆	松戸閲覧室 498.54/S
百原 新（園）	海辺の環境学：大都市臨海部の自然再生	分担執筆	松戸閲覧室 454.7/U
山口 正視（真菌セ）	電顕入門ガイドブック	編集委員長, 分担執筆	松戸閲覧室 460.75/D

頑眼眼眼顔

新着資料紹介

新着資料の中から毎回数点ずつご紹介します。

The Lindisfarne Gospels　　－本館2階書庫大型 727.8/LIN

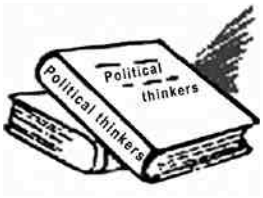
700年頃、ラテン語に対する行間注釈の形で書かれたイギリス最古の福音書。聖書研究には必須の文献のひとつです。（ファクシミリ版）

The history of sport in Britain, 1880-1914 （5 Vols.）　　－本館閲覧室4階 780.233/HIS

英国ヴィクトリア朝からエドワード朝にかけて、当時の有名な定期刊行物に掲載されたスポーツに対する論考の集成です。（ファクシミリ版）

Political thinkers （9 Vols.）　　－本館閲覧室3階 311.1/POL

西洋政治思想史を代表する９名の思想家について、代表的な研究者が概説したものです。（リプリント版）



A descriptive catalogue of the manuscripts in the Library of Corpus Christi College, Cambridge （2 Vols.）　　－本館2階書庫大型 022.23/DES

ケンブリッジ大学コーパスクリスティカレッジ、パーカーライブラリー所蔵の写本すべての解説付き目録です。

行　事　日　誌 平成16年 9月～17年 3月）

9月16日	第50回千葉県大学図書館協議会（東京情報大学）
9月21日	平成16年度第３回附属図書館外国雑誌検討専門委員会
10月４日	平成16年度第３回附属図書館運営委員会
10月８日	千葉市図書館情報ネットワーク協議会(千葉センシティータワー)
10月20日	国公私立大学図書館協力委員会平成16年度第１回常任幹事会(慶應義塾大学)
10月20日	第57回国公私立大学図書館協力委員会（慶應義塾大学）
10月22日	平成16年度第３回国立大学図書館協会理事会（京都大学）
11月12日	関東地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議（千葉大学）
12月６日	平成16年度第２回附属図書館資料選定専門委員会
12月７日	平成16年度第１回附属図書館学術情報発信専門委員会
2月１日	平成16年度第４回附属図書館運営委員会
2月18日	平成16年度第５回附属図書館運営委員会
2月28日	国公私立大学図書館協力委員会平成16年度臨時常任幹事会(慶應義塾大学)
3月２日	平成16年度第２回附属図書館亥鼻分館運営委員会
3月11日	平成16年度第２回附属図書館学術情報発信専門委員会
3月15日	平成16年度第３回附属図書館資料選定専門委員会
3月15日	平成16年度第６回附属図書館運営委員会
3月24日	千葉市図書館情報ネットワーク協議会(千葉センシティータワー)

千葉大学附属図書館報 InfoPort No.11
平成17年４月発行
編集・発行 千葉大学附属図書館
〒263- 8522 千葉市稲毛区弥生町1- 33
TEL: 043-290-2262
FAX: 043-290-2266
URL: http://www.LL.chiba-u.ac.jp/